

【ALLアプローチ協会 17 種類の厳選テクニック集】

※メルマガやセミナーでは、出せていないアプローチの数々を収録しております！テクニック数は 17 種 31 個を超えております。

1. 肝臓治療(肝臓リフトテクニック、前頭骨同時調整、反射点治療)

<https://www.youtube.com/watch?v=8ktZVDXaEAq>

2. 腎臓治療(腎臓リフトテクニック、反射点治療、経絡アプローチ)

<https://www.youtube.com/watch?v=k2be-TYQRaI>

3. 心臓治療(心臓リリーステクニック、反射点治療、経絡アプローチ)

<https://www.youtube.com/watch?v=r66DRvZIVzo>

4. 肺治療(反射点治療、後面アプローチ、経絡治療)

<https://www.youtube.com/watch?v=5oF4fV3wIU8>

5. 胃治療(胃リリーステクニック、反射点治療、)

<https://www.youtube.com/watch?v=5tU--fgIblU>

6. 膵臓治療(膵臓アプローチテクニック、反射点治療)

<https://www.youtube.com/watch?v=zhb2HN5LUfI>

7. 脾臓治療(脾臓アプローチテクニック、反射点治療)

<https://www.youtube.com/watch?v=zhb2HN5LUfI>

8. 大腸・小腸・体網 十二指腸治療

<https://www.youtube.com/watch?v=7P-c63X83xo>

9. 胸腺治療

<https://www.youtube.com/watch?v=Ks4SA6SwDAE>

10. 前頭骨の調整

<https://www.youtube.com/watch?v=ob-npo-I9IY>

11. 側頭骨の調整

<https://www.youtube.com/watch?v=nppaQNTVKfo>

12. 後頭骨の調整

<https://www.youtube.com/watch?v=w5PJ48TcUXM>

13. 頭頂骨の調整

<https://www.youtube.com/watch?v=IbnENie7tno>

14. 硬膜の調整

<https://www.youtube.com/watch?v=7es4fol90Fs>

15～17. 脳脊髄液増量テクニック、蝶形骨、篩骨、上顎骨テクニック

https://www.youtube.com/watch?v=HKSI0F_av-Q

特典の内容

内臓・頭蓋の基礎PDFファイル&動画

○ 内臓の反射点全て紹介

・肝臓反射点

① 右母指の水かき ② 第 2 肋骨中央 ③ アキレス腱移行部 ④ 右上腕内側

・腎臓反射点

① 上肢→示指中手骨頭 ② 下肢→腓腹筋内側頭＋内側ハムスト停止部の合わさっている所

③ 肋骨部→左右第 2 肋骨の外側

・心臓反射点

① 左母指球中央 ② 下肢腓腹筋アキレス腱移行部(左) ③ 体幹左第 2 肋骨中央 ④ 左上腕内

側 ⑤ 胸椎 1 番

・肺反射点

- ①C2, 3(第2, 3頸椎) (※第一頸椎でも緩みます) ②鎖骨中央 ③胸椎であれば、胸椎2番 1 横指左(左肺) 胸椎 3 番 1 横指右(右肺) ④第2, 3中手骨の間、右手であれば右肺 左手であれば左肺 ⑤下腿外側(上部)

・脾臓反射点

- ①左母指水かき ②左恥骨③胸椎8, 9

・副腎反射点

- ①ふくらはぎ中央部(カーフサインともいわれている所)
- ②右母指球中央部 ※カーフサインとは...内臓の状態がふくらはぎの硬さとして現れる東洋医学的な言葉

・膵臓反射点

- ①上肢:右手の母指球中央 ②肋骨:左第 3 肋骨内側 ③脊柱:Th8棘突起より 1 横指左右 (左:膵尾 右:膵頭)

・回盲弁反射点

- ①右母指球の近位部②第 3 肋骨の外側(右)

・S 状結腸反射点

- ①左母指球近位部 ②第 3 肋骨外側(左)

・胃反射点

- ①右母指球遠位部 ②体幹第 3 肋骨中央(左)③胸椎 7 番

・十二指腸反射点

- ①体幹 Th7 棘突起の 1 横指右側 ②上肢 左水かき遠位部

・子宮反射点

- ①右第一中手骨と第 2 中手骨の交点 ②左右第 4 肋骨外側 ③左右PSISの 1 横指下
- ④TFL

※以上が反射点となります。反射点を使用する場合は、人によって反応しやすい反射点がありますので探しましょう。

○ 内臓と可動域・筋肉の関係性＋痛みとの関係性

●肝臓治療可動域＋痛み＋筋肉

- ・右頸部、右肩、体幹の可動域変化が出ます。(左葉では、やや左側にも影響します。)
- ・特に頸部の側屈、右肩の屈曲、体幹の伸展に変化が出やすいです。
- ・大腰筋上部との関係性が深いため、肝臓治療をすると大腰筋上部のリリースにもつながる
- ・頸部、右肩痛み、腰痛、右膝痛、右股関節痛に関与します。(肝臓が骨盤のアライメント不良を起こし膝、股関節痛につながる)
- ・肝臓が骨盤を下制させ骨盤や股関節のアライメント異常を起こすことが非常に多いです

●腎臓治療可動域＋痛み＋筋肉

- ・頸部、肩、体幹、膝、股関節痛に関与
- ・大腰筋中部との関連が強い
- ・頸部側屈、伸展、体幹伸展の可動域に強く関与

指標(評価ポイント): 頸部、腰のROM、大腰筋上部の硬さ、反射点の硬さ

●心臓治療可動域＋痛み＋筋肉

- ・頸部、肩、体幹ROMに関与
- ・ディープフロントラインに心膜が含まれており、大腰筋などにも関与
- ・下肢の痺れにも関係する

指標(評価ポイント): 頸部、左肩、腰のROM、大腰筋の硬さ、反射点の硬さ

●肺治療可動域＋痛み＋筋肉

- ・頸部、肩、体幹に関与(特に頸部、肩)
- ・呼吸筋との関与が高い(横隔膜や斜角筋、大腰筋なども含む…)
- ・肺の後面リリースでは、バックラインが緩みハムストにも影響するため歩行自体も変化
- ・頸部、肩のROM変化あり

●脾臓治療可動域+痛み+筋肉

- ・左頸部、肩、体幹に関与(特に頸部、肩)
- ・頸部、肩、腰部のROM変化あり(特にラテラルライン 腰方形筋など…)

●脾臓治療可動域+痛み+筋肉

- ・頸部、肩、腰ROMに関与(著明な変化なし)
- ・肩こり、腰痛に適応。

●小腸、大腸可動域+痛み+筋肉

上行結腸側の神経支配は……迷走神経(頸部に症状が出やすい) 下行結腸側の神経支配は……骨盤神経(腰痛として、症状に出やすい) 頸部、肩、体幹、股関節の可動域変化あり

●胃可動域+痛み+筋肉

- ・頸部、肩、体幹に関与(特に頸部、肩)
- ・頸部、肩のROM変化あり(著明な変化なし)

●子宮可動域、痛み、筋肉

- ・骨盤周囲の可動性アップ、内転筋の柔軟性の関与

●頭蓋と内臓のつながり

- ①前頭骨:肝臓(左右)
- ②側頭骨:腎臓(左右)
- ③蝶形骨:心臓(左右 右は横隔膜付近)
- ④後頭骨:脾臓(左)小腸(右)
- ⑤頭頂骨:副腎
- ⑥頬骨:脾臓
- ⑦上顎骨:肺

○ 自律神経障害別で治療すべき内臓について

(※関連する内臓の上記の頭蓋の治療も必要…)

- 疾患別で必要な内臓治療
- ①肩こりに必要なテクニック
- 【右肩こり】
- 内臓治療：肝臓、肺、腎臓、小腸、大腸
- 【左肩こり】
- 内臓治療：心臓、脾臓、膵臓、胃、肺、小腸、大腸
- ※内臓治療は、左右で違いますので注意が必要です。
-
- ②腰痛に必要なテクニック
- 心臓、肝臓、腎臓がメイン。(すべてディープフロントラインに関与)
- 他には、肺、大腸、小腸、脾臓、膵臓も関与することあり…
-
- ③頭痛に必要なテクニック
- ※排泄障害か筋膜性による血流障害の影響あり…
- ・便秘など(小腸、大腸、肝臓、胆のう、十二指腸、すい臓、胃)
- ・生理関係(肝臓、腸、子宮)
- ・排尿障害(腎臓)
-
- ④便秘、下痢に必要なテクニック
- ※消化器系の治療
- ・肝臓、すい臓、胆のう、十二指腸、膵臓、胃、小腸、大腸、脾臓(脾臓が結腸曲を圧迫している場合あり)
-
- ⑤冷え症に必要なテクニック
- ※循環系や免疫系を治療
- ・肝臓、脾臓、胸腺がメイン
- ・他には、腎臓、肺、小腸も関与
-
- ⑥生理痛+(無月経)に必要なテクニック
- ※肝臓が右の卵巣を圧迫する
- ・子宮、卵巣、下垂体、副腎、肝臓、視床下部、腸
- (無月経の場合は免疫系の治療も+で必要)

- ⑦高血圧に必要なテクニック
- ※循環系アプローチ
- ・心臓、肝臓、腎臓
- （低血圧の場合、体温を上げる免疫系アプローチが必須）

- ⑧重だるさ、ストレス、不眠などに必要なテクニック
- ※腎臓、副腎がメイン
- 他には、膵臓、胃、肺、左腸、心臓がストレスに影響しやすいためアプローチ必要
- ...

-
- ⑨アレルギーに必要なテクニック
- ※免疫系の治療
- 肝臓、脾臓、胸腺、腸、副腎、下垂体
-
- ⑩花粉症に必要なテクニック
- ※免疫系の治療
- 肝臓、脾臓、胸腺、腸、副腎、下垂体
-
- ⑫アトピーに必要なテクニック
- ※酸素と免疫
- 肺、腎臓、腸、肝臓
-
- ⑬肌荒れに必要なテクニック
- ※解毒、炎症
- 肺、腸、副腎、肝臓、腸
-
- ⑭自己免疫疾患（リウマチなど）
- ※免疫系の治療
- 肝臓、脾臓、腸、胸腺、副腎
-
- ⑮癌に必要なテクニック
- （体温を上げてあげる）
- 肝臓、脾臓、胸腺、胸腺がメイン
- 他にも腸や腎臓も併せて実施

○ 1 次呼吸の把握の仕方

【基礎知識】

- ・1 次呼吸とも呼ばれる
- ・1 分間に 6～13 回のサイクル
- ・1 サイクルは屈曲相(呼出期)と伸展相(吸収期)からなる

屈曲相:頭蓋骨の左右が拡大、仙骨後傾、下肢外旋

伸展相:頭蓋骨の前後が拡大、仙骨前傾、下肢内旋

【頭蓋骨イメージ】

- ・頭蓋骨の解剖イメージ
- ・頭蓋仙骨リズムに同調
- ・頭蓋骨に動きを感じる
- ・骨でタッチ
- ・相手へエネルギーを伝えるパイプ役になる
- ・身体を緩ませる、姿勢、身体操

○ 内臓に同調させる方法

<https://www.youtube.com/watch?v=oUrNGNAF7iQ>

- ・内臓のイメージを3Dでしっかり把握すること
- ・イメージが作れると、周波数が合い同調や共鳴することが可能
- ・あとは、自分の治療を信じることも重要(疑うと効果半減…)

周波数→共鳴 同調→調和が重要

● エネルギーワークを動画でプレゼント

【グラウディングについて】

考え事や悩み事で頭を使いすぎたり、地に足を付けている感じがしないときに使うエネルギーワークです。

これによって、自分の存在感や安定感を高め、すべてのチャクラを浄化し、活性化することができます。このエクササイズは、10～15分で終わります。すべてのチャクラを浄化し活性化することができます。治療精度アップやセルフメンテナンスにつながりますので、ぜひ実践してみてください。

【方法について】

- ① リラックスして両足を肩幅に開いて立ち目を閉じます。数回深呼吸をして息を吐くときに肩を少し落としてください。これを、2、3回繰り返すたびに体から緊張を解き放ち、頭から足へと下に向かってエネルギーを送ります。
- ② 次に足に注意をむけます。それぞれの足裏の中心に穴を視覚化してください。気持ちを集中させて、地面の中へ、地球の中心（茶色のイメージ）へと進んでいきエネルギーを引き上げる自分の姿を思い浮かべます。そして、息を吸い込むたびに、地球のエネルギーを左足へと流し入れてください。
- ③ エネルギーが左足を上っていき、第一チャクラである骨盤の下部（チャクラが分からなければ、骨盤のイメージでOK）を通過していく様子を視覚化する。
- ④ 息を吐くときには、地球のエネルギーが右足を下りて右足から下にある地球へと出ていき、エネルギーを地球の中心に送り返していると視覚化しましょう！これを3回繰り返してください。
これを続けて、1～7のチャクラまで通していきます。

動画はこちらから↓

<https://www.youtube.com/watch?v=mhNcSxF60cU>

● ALLアプローチ協会お好きなセミナーを1つ半額でご招待！

「心理学×筋膜・経絡・内臓セミナー」(2490円の振り込み)

「心理学×栄養学セミナー」(4490円の振り込み)

「自律神経障害セミナー」(3990円の振り込み)

のどれかから選べますのでぜひセミナーに参加していただけたらと思います。

通常申し込みで、半額の金額をご入金ください。

動画で学ぶには、限界がありますのでぜひ実際にお会いした時に治療の感覚をお

伝えできればと思います。

6か月間の期限がありますのでご了承ください...